

【京築教育事務所】

事業報告

「令和2年度読書ボランティア交流会」

期 日 令和2年10月31日（土）

参加者 68名

日程・内容

時 間	内 容
13:15～13:30	受 付
13:30～13:40	開会行事
13:40～14:50	講演・実践報告 「学校司書から学級担任になって見えたもの～これまでの実践を通して～」 講 師 須恵町立須恵第一小学校 助教諭 高瀬 良重 氏
14:50～15:00	休憩
15:00～16:00	研修視察 「リブリオ行橋図書館見学ツアー」 ガイド リブリオ行橋館長他職員
16:00～16:15	ふり返し・閉会行事

研修の実際

（1）講演・実践報告

須恵町立須恵第一小学校助教諭、高瀬良重氏に講話・実践報告をしていただいた。自身の子どもが通う小学校で読書ボランティアをしたことをきっかけに学校司書となり、それから更に、教員を志すに至った思いなどをお話いただいた。学校司書としての取組や、教員となった現在の子どもたちとの関わり等の紹介を通じて、読書の意義や大切さを伝えていただいた。

本研修会の参加者は、読書ボランティア、学校司書、図書館司書、教員、行政担当者等、多岐に渡るものであったが、参加者の多様なニーズ



に十分に伝える内容であった。昨年度のふりかえりや事前の聞き取りなどで参加者のニーズを把握し、講師と綿密な打ち合わせを行った成果であると考えている。

参加者から「読書ボランティアとして、読み聞かせの大切さを改めて感じました。学校との打合せをしっかりと、子どもたちに読書の楽しさを伝えたいと思いました。」

「図書館（学校図書館も含めて）は、もっと活性化できると可能性を感じました。大変勉強になりました。」「ボランティア、学校司書、教員、それぞれも立場でのお話が聞けてよかった。学校図書館は本を読むだけでなく、調べものをする学び舎であり、子どもたちそれぞれの居場所であるという事を伝えていかなければと思った。」などの声が寄せられた。

（２）研修視察

今回の研修会場であるリブリオ行橋は、今年度新たにオープンした図書館等複合施設である。そこで、「リブリオ行橋見学ツアー」と題した施設見学を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、参加者を３つのグループに分け、時間差で見学を行い、密を避ける工夫をした。

ツアーガイドは、リブリオ行橋館長他、図書館職員の方々をお願いした。新設の図書館の設備や最新の機器だけでなく、蔵書や施設活用のポイントなども紹介していただいた。見学ツアーの後、館長が参加者の質問を受けたり情報交換を行ったりする場を設定し、参加者が情報共有をする支援を行った。見学の最中や情報交換を通じて、参加者同士の交流を図ることができた。

参加者から「図書館は初めて見学させてもらいました。子どもを連れて来たら喜ぶだろうと思いました。私もいろいろな絵本を読みたくなりました。」「リブリオ行橋の見学を含め、参加者同士交流できたことが何よりでした。」「新しく多機能な図書館に感激しました。さっそく利用者登録をしたいと思います。」といった感想をいただいた。



（３）全体を通して

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期を変更して実施した。諸々の感染予防対策に苦慮したが、参加者の研修や交流の場を求める声に応える機会を提供できたことが意義深いと考える。また、講師や図書館職員との連絡、調整を十分に行い、研修の意図を踏まえた講話や研修視察の内容を協働して企画することができた。今年度、参加者から寄せられた意見や要望をもとに、来年度の研修をよりよいものにしていきたいと考える。